

みんなの図書館

発行日 令和5年10月5日(木) (年4回発行)

第70号



発行者 木更津市立図書館
木更津市文京2-6-51
TEL 0438-22-3190
FAX 0438-22-7509

令和5年度 図書館 夏の行事ご報告

「夏休み企画 図書館を楽しもうよ!」では、「工作教室」や「こわ〜いおはなし会」等、様々な催しを行いました。今回はその中から、特に内容が充実した夏休み行事をご報告します。

1日図書館員体験

コロナ禍によりここ数年は中止や縮小での開催でしたが、4年ぶりに「1日図書館員体験」の開催ができました!



小学5・6年生 7月26日(水)/8月2日(水) 午前10時~午後3時
中学生 8月9日(水) 午前10時~午後3時

計 24人

体験の内容は、図書館の歴史についての勉強、図書館の見学、レファレンス(調べ方)の実習、本の返却作業等です。また、時間に余裕が持てるようになったことで、令和4年度には行えなかったブックカバーがけも行なえるようになりました。

《ミニレファレンス・トリビア!》

Q.ブックカバーがけてなあに?



A. 図書館の本が丈夫で長持ちするように、また購入時にかかっているカバーが外れないようにする等の目的で、フィルム状の透明なカバーをかける作業を言います。



また図書館の見学の際には一般の人が入れない2階書庫の中も探検しました。

明治期に発行された図書や、戦時中に描かれたマンガ等、歴史の積み重ねを感じさせる図書館資料を手に取り、子ども達は歓声をあげていました。

来年度以降も子ども達に図書館員体験を楽しんでもらえるように、平穏な社会が続くことを願っています。

ありがとうございます

廣部 一 様

郷土写真等のご寄贈をありがとうございます！

木更津市史富来田編にもその名前が掲載されている廣部^{くわし}精^{はじめ}さんのご子孫の廣部一さんから、お父様の和一さんが遺した木更津市に関わる写真等をご寄附いただきました。和一さんは、木更津が町から市に市政変更となった頃に木更津町役場に勤務し、戦後は市の職員として外事課長を勤め、また木更津第一中学校の校庭で生徒達に銃剣術の指導を行われた方です。大切に保管し、木更津の歴史研究に資することといたします。本当にありがとうございます。

ご寄贈頂いた内の一枚がこちらです。

「S39年 岩根駅ホームを木更津駅より写す」と説明書されています。



坂井 昭 様

郷土絵葉書のご寄贈をありがとうございます！

お書きになったたくさんの本をご寄贈くださっている郷土史家の坂井昭さんより、大正から昭和に発行された県内の風景絵葉書約1,600点をご寄贈いただきました。現在では入手困難で、大変貴重なものばかりです。ご寄贈ありがとうございます。

ここでは木更津駅海側にあった伏見屋旅館が掲載されている葉書をご紹介します！



わたしの思い出の 1 冊 ～記憶の中に深く刻まれている 1 冊をご紹介します～

「しま」 マルク・ヤンセン/さく (E/ヤン)

鮮やかな青い空と海、海の中を泳ぐ色とりどりの魚たち・・・表紙の美しさに、思わず目を見張る。色とりどりの魚に混じって、真ん中にあるのは、大きなみどり色のカメ。カメの背中の上に、小さな小屋が建ち、そのそばに男の子と女の子、そして、犬がいる。絵本のタイトルは、『しま』だ。なるほど、このカメの背中が、「しま」なのだ。

ページをめくって物語が始まったとたん、海は真っ赤に荒れ狂い、3 人(二人と一匹)が乗った帆船が、まっぴたつに割れる。3 人は、なんとか「しま」に流れ着く。そう、カメの背中に。

3 人は、漂う「しま」の上で、美しい風景と共に、どのくらいの月日を過ごしたのだろう。ある日、大きな客船が「しま」に近付いてくる。ようやく、助けが来たのだ。

男の子と犬は、客船の梯子を上って、もう少しで甲板にたどり着きそうだ。ところが、女の子だけは、梯子の途中から、たった一人、海に飛び込んだ・・・！

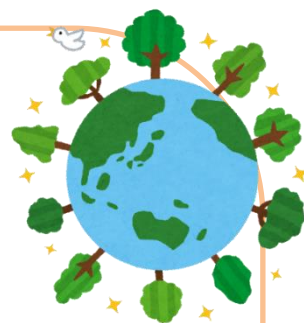
そして、ラストの 1 ページ。言葉にできない何かに、心をギュッとつかまれ、深い海のような余韻がおとずれる。

大切な人に贈りたい、そんな字のない絵本である。

図書館員 ヒロ

2030 年までに、わたしたちにできることを考えよう！

～ 世界を変える SDGs (エスディー・ジーズ) ～



2015 年 9 月国連総会で採択された SDGs は日本語で「持続可能な開発目標」と訳されます。17 の目標と 169 のターゲットから成ります。

持続可能な開発に必要な三つの柱、その 1 は「環境保全」＝自然や生態系など環境を守っていくこと。その 2 は「経済発展」＝経済活動を通じて富や価値を生み出すこと。その 3 は「社会的包摂」＝社会的に弱い立場の人も含め、誰ひとり取り残さないこと。そのどれも欠けてはいけません。

地球環境を守り、私たち人類が幸せに生きていくための目標となるもので、世界の解決すべき課題が凝縮されています。

私たちのひとりひとりが、今日からできる取り組みを考え、実行していくことが地球の未来を望ましいものに変えていくことができるといえるでしょう。 図書館員 通

参考図書：333/イス 『今さら聞けない SDGs の超基本 やるべきことがすぐわかるビジュアル版』 泉 美智子/著 佐和 隆光/監修

10 月末から 2 階展示コーナーで SDGs をテーマにした展示を行います。
どうぞお楽しみに！

《レファレンス・トリビア》

★「レファレンス」とは情報を求めている利用者に対し、図書館員が提供する個人的援助を言い、貸出と並んで図書館サービスの中心となる業務です。

R010/ト 『図書館用語集 3訂版』 日本図書館協会用語委員会 // 編

Q 友人からとある物語のコピーをもらったが、最後のページを無くしてしまった。物語の内容は、太田山の洞に「おこんぎつね」という名前の占いのできる狐が住んでいて、人間の若者に頼まれ、ある娘の病気の治し方を教える。おこんぎつねは人間の若者が好きなのだが、若者と娘は恋仲になってしまう。おこんぎつねが最終的にこの若者か娘をどうかしたと思うのだが、最後のページがないため結末がわからない。コピーをもらったのは15～20年前だと思う。太田山も出てくるので木更津に伝わっている話だと思うが……。

A このレファレンスは7月で異動になったまーさんが受けたものです。まーさんが残した記録からご本人の了承の元で、レファレンス・トリビアをお届けします。

本の奥付等がないので、本から話を探すのは難しそうです。コピーをくれたご友人がどこからその本を持ってきたのかお聞きしましたが、「千葉か、あるいは館山から借りたのかもしれない」と検索範囲は狭まりません。木更津でキツネの話が載っていそうな本として、「きさらづの民話」が思い当たりましたが、太田山のキツネの話はありませんでした。「児童書のような印象がある」とのことなので「千葉の童話」も見てもらいましたがこちらも違うとのこと。

「ならばここはデジタルの力の出番！！」と国会図書館デジタルコレクションで「おこんぎつね」を検索しましたが、違う話ばかりがヒットしてしまって収集がつかません。

これはコピーを持ってきていただいて、そこから情報を探ることにしましょう……。

そして持ってきていただいたコピーの1ページ目のタイトルには、「女狐と八卦見、悲恋の無理心中」とあり、どうやら狐が無理心中するらしいとわかりました。

さっそくグーグルブック検索（本に書かれた文章を直に検索できるサービス）で、「キツネ」、「無理心中」で検索すると、今度は「民話・昔話全情報 45/91」というレファレンスブックの243ページがヒットします。「民話・昔話全情報 45/91」は当館にあるので直に情報をあたってみると、「房総の秘められた話、奇々怪々の話」という本に「女狐と八卦見、悲恋の無理心中」が載っていることがわかりました。「房総の秘められた話、奇々怪々の話」も当館にあります！確認してみたところ太田山の悲恋話、ビンゴでした！

図書館を代々守ってきた先代達が収集してくれた書籍の力と、デジタルの力を総動員して正解に辿り着いたレファレンスでした。

参考図書：R388/ミ 『民話・昔話全情報 45/91』 日外アソシエーツ株式会社/編

※ 388/タ 『房総の秘められた話、奇々怪々な話』 大衆文学研究会千葉支部 // 編

編集後記 秋も深まってきましたね。私が図書館の仕事で一番季節を感じるのは、絵本の読み聞かせです。今の時期なら「やまこえのこえかわこえて」と「ぐりとぐら」がお気に入り。「ぐりとぐら」はカステラのイメージが強いですが（私もです）、最初は秋のどんぐりやくりを拾って、「おさとうをたっぷりいれて、によう」と話していたり、「やわらかくゆでて、くりーむにしよう」と話していたり。この流れの話も見てみたくなってしまう。（まる）